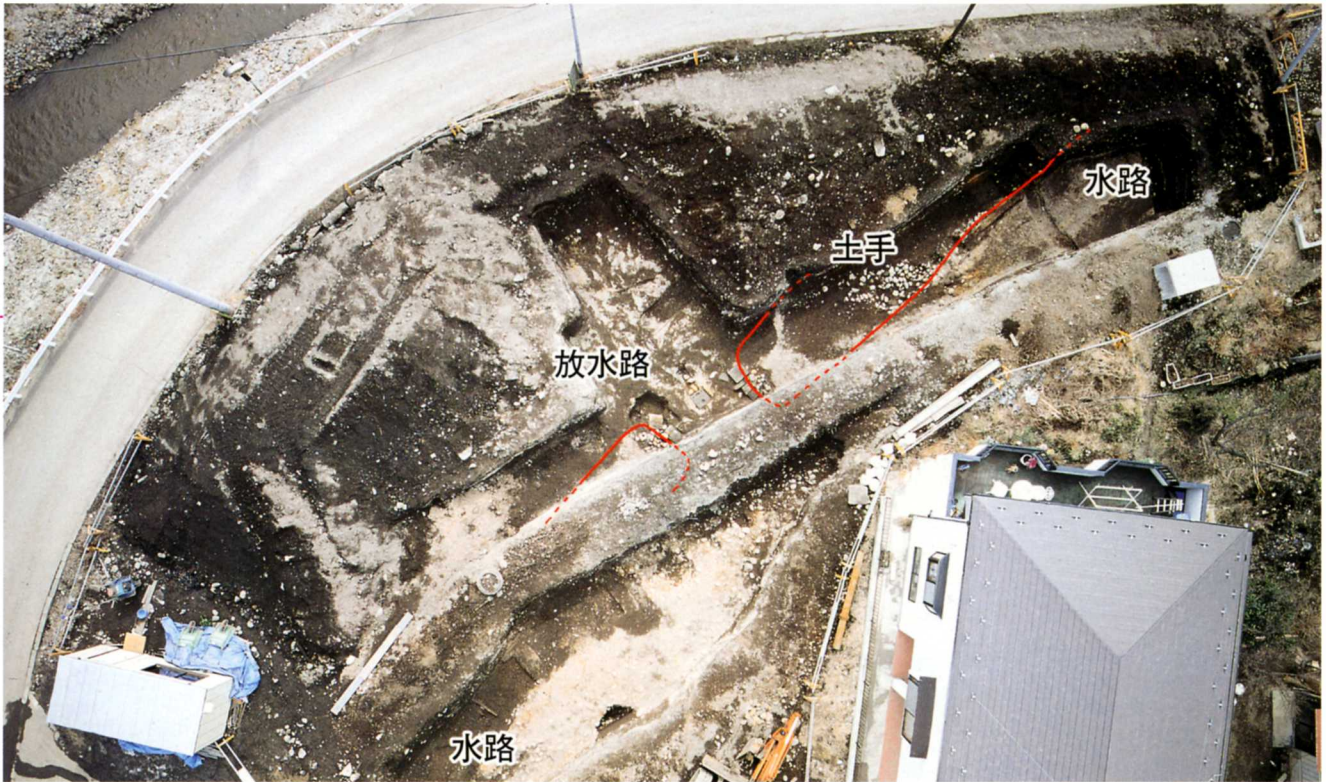


ほうらいくるまあと  
**宝来車跡**

所在地 巡り矢  
調査期間 平成13年2月～3月  
検出遺構 水路跡

妙関寺の南側左岸にありました。江戸時代の記録が残り、大正時代頃まで、精米や綿打ちが行われた水車です。石臼の破片が出土しましたが、土地の改変が大きく、水車小屋跡の位置を確かめることはできませんでした。水路跡が確認され、土の断面により、谷津田川との間に土手が作られていることが分かりました。土手は一部で途切れ、放水路が作られています。



宝来車跡全景



放水路

川沿いの道路は水車の廃業後に作られています。写真の手前が谷津田川に出る放水口と考えられます。両側の壁の石積には墓石が転用され、河原石により裏込めがなされています。